

市村千恵子 議員



務となっている浅麓地区においては、第1段階の施設をむやみに大規模化することとは考えていない。

町長 現状の中では浅麓3市町の中で検討していく。

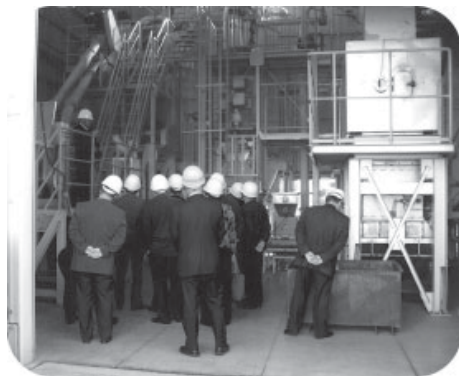
苗畑跡地へのごみ焼却施設の建設計画がでていますが、町の基本的な考え、基本姿勢について問う。

生活環境課長 分別はもとより、減量化、循環型社会への取り組みをさらに進めたい。

町長 現状の中では浅麓3市町の中で検討していく。

- ① 自律推進計画に示した建設費20億円の根拠は。
- ② 「巨大な焼却場で利益をとる」の意見も聞くが町の考えは。
- ③ ごみの減量化計画はどうするのか。

生活環境課長 建設費20億円の根拠は、全町約1日7トンの排出量なので、10トン、1炉10億円と最小限の条件整備を見込んで20億円とした。大きな施設をつくってもパトナーが形成されなければ運営ができません。施設整備が急



岐阜県では、西濃環境保全センターを視察した。この施設は、ガス化高温溶融炉方式のもので、1千400度の高温で処理するためダイオキシンの発生が抑えられるというものであった。処理能力は1日90トンで、建設予定費72億円が、入札の結果52億円ということだった。

静岡県では、沼津市の明電舎が開発した施設を視察した。この施設は、炭化乾留型の分解システムを取り入れ、酸素を遮断して蒸し焼きにして処理をする方式のものであり、ごみを高温で燃焼させる時に発生する有害物質を抑えることができるという説明であった。

町が計画している廃棄物処理施設の建設にあたって、議員全員で1月18日、19日、静岡県と岐阜県の施設を視察研修した。

燃えかすである残渣は、再資源化をはかり土木資材として売却し、また施設から出る熱をプールやトレーニングルームに活用していた。

三つ目に加茂ささゆりパーク施設を視察した。この施設は1日240トンと60トン処理する灰溶融炉があり、付帯施設として宿泊施設、ガラス攻防、体育館などの施設が整備されていた。

3施設それぞれ一長一短がある。当町は自然環境に恵まれているだけに、機種等の選定に誤りがないよう今回の研修を活かしていきたい。

廃棄物対策特別委員長 重田 惇



ごみ焼却施設の町の基本的な考えは 浅麓3市町の中で検討

佐久広域連合議会 3月16日

一般質問 朝倉議長

広域連合の

役割について

問 佐久広域連合も新佐久市の誕生などで16市町村から11市町村に変更になります。広域連合の役割が重要になると思われる、連合長としてどう考えているか。

会があり、一本化しなければ両方がだめになってしまふという声が聞かれ、地域振興や観光方面に支障をきたすと懸念されるが、佐久広域でアンケートを実施しては。

三浦連合長 多くの民間団体が組織され、それぞれ主張があり、早急な一本化は困難。アンケートについては同盟会があり、私がどうこう言える立場にないので様子を見たい。

消防行政、介護保険認定事業などは今後も継続して行く。ゴミ処理広域化計画は、提言を受けているが、なかなか意見がまとまらない。協議しながら順次進めたい。

ご当地ナンバー

導入について

問 佐久ナンバーと軽井沢ナンバーの2つの期成同盟



議会運営委員会 視察



去る1月24日静岡県富士宮市議会を視察した。

当市の議員定数は24名で構成されており一般質問は対面方式を取り入れ、活発な議論を交わしている。

予算、決算は全議員からなる特別委員会を設置し、審査を付託している。

市の情報公開条例に基づき一般質問は、総括質疑の放映、録画テープを市民に貸し出し公開している。

限られた時間であったが、充分意見交換ができた。

今後当該議会としても、先進地の視察や調査を

議会だより 研修

議会だより編集委員会は北アルプスのふもと、松川村を研修した。

研修の成果をこれからの議会だよりで活かすし、皆さんに親しまれる紙面づくりを心掛けていきたい。

議会だより編集委員会 委員長 柳沢 嘉勝

議員運営委員会

委員長 中山 美博

松川村の議会だよりの歴史は永く114号を数えており、コンテストで何回か奨励賞を受賞した実力をもつ

